

いつまでも住み続けたいまち江名子校区

えーまち (e-machi)

ありがとうございます・助かっています

「おでかけタクシー便」利用者の声

「おでかけタクシー便」がスタートして三ヶ月が経過しました。事業内容が広く伝わり始め、少しずつ利用者が増していることは嬉しいことです。利用して下さっている方のお声をお届けします。

家の前まで迎えに来てくださり、買い物が終わるまで待っていてくださいます。とてもありがたい利用させていただいています。

一人では申し訳ないので、近所の登録されている方を誘って、3〜4人で利用しています。

(上江名子町 川上 みつ子)

いつも利用しています。一人で申し訳ないなど思うこともあります。天気の良い日は自転車で行けませんが、雪や雨の日に、利用させてもらってとても助かっています。

(荏名団地町 A)

「おでかけタクシー」を利用させてもらって、とても助かっています。主に買い物に利用しています。荷物を家まで運んでくださり、とても親切にしてもらいました。市の広報(表紙の写真)を見た人から、「広報 見たよ」と連絡が来て世間話が弾みました。これも嬉しいことです。もっと多くの人が利用するといいのになあと思っています。

(錦町 滝 徳太郎)



自宅から、毎週火曜日ピュア高山・金曜日フレスポまでを、定額(1往復1,000円、片道500円)で運行しています。利用いただくには、「利用者登録」と「利用申し込み」が必要ですので、各町内会、長寿会を通して配布した案内チラシをご覧ください。ただくか、直接江名子校区まちづくり協議会までお尋ねください。(TEL 3417253) より多くの方に利用いただけることを願っています。数名の方からは、「今のところ利用の予定はないが、登録だけはしておこう」と、利用者登録をされた方もいらっしゃいます。

令和6年度 総会開催のご案内

期日 4月24日(水) 時間 午後6時 開会

場所 ひだホテルプラザ

本年度の事業報告と会計決算報告、また、令和6年度の役員承認・事業計画・予算案等についてご審議いただきます。地域の皆さんに広く理解していただきたいと思っておりますので、傍聴を希望されます方は、事前にまち協事務局までお申し出ください。

願いやアイデアをお聞かせください

次年度のまちづくり協議会の事業に対して、「こんな行事があったらいい」「こんな講座があったらいい」「こんな事業をやってもらえるといい」…そんな皆さんの願いやアイデアをお聴かせください。

お近くのまち協役員・町内役員の他、社教委員等の皆さん、または直接まち協事務局へお伝えください。～『いつまでも住み続けたいまち江名子校区』にしていくために～

～退任役員の挨拶～

本年度末でご退任されます各委員長さんに、活動を振り返っていただきました。本年度は、新型コロナの5類移行に伴い、感染予防に十分配慮しながらも、まち協の様々な活動が以前のような活気を取り戻す年となりました。各委員の皆様には、その中心としてご活躍いただき、事業を推進していただきましたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。お疲れ様でした。

2年間を振り返ってみて

社教委員長 宮田 満成

社教委員として、1年目は新型コロナによる規制に対する閉そく感を、2年目は規制緩和による解放感を感じた2年間でした。

昨年8月に行われた「えーまち夏祭り」では、子どもさんからお年寄りまで、幅広い年齢層の方々が大勢参加されました。

この行事では、コロナ禍前にも行われていなかった企画のため、不手際も多々あったと思いますが、今までの様々な規制から解放されるエネルギーを、スタッフや参加者の皆さんから感じる事ができました。

多くの方々からのご協力のおかげで何とか役割を全うすることができました。2年間誠にありがとうございました。

体育委員活動

体育委員長 寺垣 聡

今年度体育委員を務めさせていただいて、いろいろな体験をさせていただきました。

中でも、大人から子どもまで楽しんでいただけたのは「こもれびウオーキング」です。高山の豊かな自然を感じてもらえたと思っています。たくさんの方々に参加していただきありがとうございました。このイベントにご協力していただいた方々にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。全参加者がケガなく楽しく運営できたことに感謝申し上げます。

江名子に住んで社教活動に参加することで、幅広い世界でのつながりができ、魅力ある江名子地域を活性化して、これからも皆さんと共有していけたら良いと思います。

1年を振り返って

子ども会育成委員長 清水 幹子

私はこれまで、一江名子町民として我が子と一緒に、まち協の行事に参加させてもらっていました。しかし、今年度は行事運営に携わる立場となり、見えてきたものも幾つかありました。今まで、当日行って参加していた行事の一つ一つに、こんなに沢山の地域の方々が計画準備して下さっていたんだと驚くと同時に、感謝の気持ちも生まれてきました。

この1年、私も微力ながらまち協の皆さんと協力し取り組み、そして行事に参加してくれた子ども達や家族の方々、地域の方々と共に、私自身も楽しんで活動できた貴重な時間でもありました。ありがとうございました。

行事に参加した子ども達が、「江名子っていいとこやな～」と感じてくれたら嬉しいなあ、大きくなったら、江名子地域の力になり盛り上げていってくれたら更に嬉しいなあ、そんなことを願っています。

1年を終えて

女性委員長 瀧根 智恵子

今年度は新型コロナによる規制も緩和され、女性委員会は「寄せ植え」「味噌作り」の両講座と「交流バスハイキング」を実施しました。これらの事業には多くの方に参加いただき、マスクを外した笑顔で語らうことができました。ただ新しく取り組んだ「フードドライブ」は、皆様への周知が行き届かず広報のみで終わってしまい、次年度への課題として引き継ぎたく思います。

省みて、行事等で江名子の方々が集う機会は、“人と繋がり助け合う地域作り”には欠かせないことだと改めて実感しています。今般の能登大地震のニュースを見るにつけ、その思いは強くなりました。私自身は3月をもって女性委員会を卒業いたしますが、地域と共にある江名子まち協を今後も見守っていきたくと思います。1年間ありがとうございました。





こもれびウォーキング



まち協防災学習会



ドラム缶ビザづくり



えーまち夏まつり



えなっこ茶会



花壇コンクール

地域の絆

教養委員長 橋本 兼二

2年間にわたり社教に携わせて頂き、多数の経験をしました。1年目は、コロナ禍という事も色々行事が縮小されました。2年目になると、コロナ禍も明けて夏祭りなど、1年目にはできなかった行事が再開され、色々な経験ができました。江名子校区の皆様の笑顔が印象に残っています。

運動会に代わるウォークラリーは、地元の人にも好評で、来年も行ってほしいとの声を聞いて嬉しかったです。この2年間で、今まで知らなかった江名子のことを勉強させて頂き、ありがとうございました。

2年間を終えて

広報委員長 谷口 健司

2年間社教委員を務めることができたのは、沢山の皆さんの指導のおかげで、何とか終わることができました。

この2年間で印象に残るのは花壇作りです。初めてやる事が多く、分からないことばかりでした。夏場の花壇への水やりは、とても暑く日焼けしてしまい、えらかったことを覚えています。「えーまち夏祭り」の開催は、朝早くから準備のために集まり、夜遅くまでやりましたが、沢山の皆さんに来てもらうことができとてもうれしく、印象に残っています。

まち協の行事で、他の町内の人たちと接することができて良かったと思います。この経験を、今後に活かしていきたいです。2年間どうもありがとうございました。

ありがとうございました

厚生委員長 平田 大輔

社教委員の活動を通して地域のイベントに参加し、多くのことを学ばせていただきました。特に夏祭りは楽しく参加できました。

少子高齢化社会への対応の一つの方法として、地域コミュニティへの理解と参加が必要だと強く感じました。2年間本当にありがとうございました。

2年を振り返って

厚生副委員長 清水 基樹

2年間、社教委員として活動に参加させて頂きました。それまで地域の行事には全く無関心でしたので、毎年このような行事や取り組みが行われていたことを初めて知り、また沢山の皆さんの協力により地域が守られ、活性化しているのだと感じることができた2年間でした。

多くの住民の皆さんの笑顔や喜びの声を頂いたこともあり、役員としての達成感を味わえたことを本当にありがたく思っています。

今後も一人でも多くの方に行事に参加して頂き、楽しんで頂きたいと思います。



楽しかったドッジボール大会



わたしは、2月24日の土曜日に、ドッジボール大会へ行きました。まず、ドッジボールをはじめる前に、チーム名を決めました。グループごとに名前が決まったら、ドッジボールを始めます。ピンクグループは“じゃがりこ”、黄色グループは“ピカチュウ”などと決めてから、しあいをはじめました。

わたしのチームとじゃがりこチームとしあいをして、まず最初のしあいでは、わたしのチームが勝ちました。そのまましあいをして、同点になったときもありました。そのあと、お昼になりました。地いきの人が、この日のために豚汁を作ってくれました。とってもおいしかったです。最高の日になりました。

ドッジボール大会やお昼に協力してくださったみなさんに、かんしゃの気もちをとどけたいです。

(江名子小学校 4年 高卯 桜香)

2月24日(土)にドッジボール大会をしました。友達も来ていてとても楽しかったです。チームはピンクで、名前を決めるとき「じゃがりこ」が多くてびっくりしました。

ドッジボールをする前に、色のついたカードをひっくり返すゲームをしました。1回せん目はよゆうで赤が勝って、2回せん目はぎりぎり赤が勝ちました。1回せん目も2回せん目も、自分がひっくり返した色が勝ってうれしかったです。

ドッジボールは、全部で4回せんくらいやりました。多分一番△(引き分け)が多かったと思います。結果は、一位がピンクチームの「じゃがりこ」でした。自分のチームが一位って思っていなかったのが、びっくりしました。やっぱりドッジボールは楽しかったです。

(江名子小学校 4年 安田 祐佳)



味噌づくり講座



1月21日(日)、江名子小学校第2体育館で「味噌づくり講座」が開催されました。おいしい手作り味噌の仕上がりが楽しみです。



バスハイキング

1月27日(土)、48名の参加で2台のバスに分乗して、「リニア鉄道館」「犬山成田山」「イチゴ狩り」「めんたいパーク」を巡り、楽しい一日を過ごすことができました。



わいわいワイン講座



恒例の「わいわいワイン講座」が、2月9日(水)上江ふれあいセンターで29名の参加で行われました。

まず初めに岐阜県下で初めてのワイナリー(ブドウ畑:久々野町小坊地区)で醸造された初出荷のワインを試飲しました。冷涼な飛騨でのブドウ栽培の難しさや特徴、今後への期待についてお話を聞きながら頂きました。続いて、特徴ある国内のワインと海外のワインについてその特徴や味わい方を聞きながら、楽しいひとときを過ごすことができました。



地区防災計画の作成

大規模広域災害が発生した場合には、「公助」が早急に届かない場合があります。その場合、地域コミュニティレベルでの助け合い「共助」による救済活動が必要不可欠です。災害時の協力体制に混乱が生じないように、共助のための共通ルール「地区防災計画」を作成し、地区全員で共有しましょう。

計画に基づき、いつ災害が発生しても落ち着いて対処できるという「心構え」も備わります。(市「みんなで作る地区防災計画」リーフレットより)

江名子校区では、まち協主催の様々な防災への取り組みや情報提供、町内毎に開催されてきた研修会や訓練等を、「校区」「町内毎」の『地区防災計画(案)』にまとめています。今後更に、“要支援者の確認や支援の方法”“マイタイムラインの作成”等、より具体的な取り組みを進めていきます。

あまざけ
1月14日(日)
荒神社 醴祭り

醴祭りは、今から約800年あまり前から、4年に一度行なわれています。祭典は町内会が主催し、町内会各班長が杜氏となり、麴菌とお米を使って醴を作っていきます。醴の出来具合でその年の豊凶を占い、五穀餅（米、麦、大豆、粟、小豆）とともに神社に供えます。

閏年の1月第2日曜日に行うのが慣例で、今年は14日に行いました。前日の13日には、朝から準備のために集まりました。改良組合は五穀餅作りをし、神社委員は公民館で行う地祭りや荒神社様の準備を行い、女性部は、お手伝いの皆さんの二日間の食事の準備を行いました。さらに、交通安全協会は駐車場の整理を、神楽は荒神社様で祭典を行います。いろいろな団体の協力で成功することができました。

祭典には、水門市議会議長様はじめ30名近くの来賓をお迎えし、盛大に執り行うことができました。

(広報委員 谷口 健司)



「文化財を守ろう」
1月26日(金)
荏名神社消火訓練

1月26日、荏名神社において高山消防署、荏名神社総代、荏名古史跡保存会、そして下江名子町内会が参加し消火訓練が行われました。この日は奈良県の法隆寺金堂が火災により焼失したことから、「文化財防火デー」と定められ、全国規模で訓練が行われます。高山市では多くの寺社の中から、荏名神社が選ばれました。

高山消防署と何回か打ち合わせを重ね当日を迎えました。手順にのっとりまずは119番通報です。そして水消火器による初期消火。そして町内会による消火栓を使った訓練。そして本番さながらに、荏名文庫から貴重な文化財を運び出す訓練。荏名文庫の中には、高山市の重要文化財に指定された田中大秀の木像や歴史資料など数百点が保管されています。やがて消防車も到着し放水。これで訓練は終了です。大事な地域の宝はみんなで協力して守っていきましょう。

(荏名古史跡保存会 西田 稔)



喜寿をお祝いします

本年、数え年で77歳を迎えられる50名の皆様に、これまで地域づくりを支えてこられたことに感謝し、今後も「末広がりに」「し(四)あわせに」お暮らしいただけるようにとの願いを込めて、ささやかではありますが、商品券八枚(四千円分)を、各町内会を通してお届けいたします。



おめでとうございます

情報提供書の提出

各町内・まち協から提案(要望)された新規・継続合わせて78件を、江名子校区まちづくり協議会が取りまとめ、3月13日、令和6年度事業分の市への「情報提供書」として個別の情報提供書と共に提出しました。今後、市の担当部課毎に検討され、【実施・一部実施】事項については、令和6年度事業として順次実施されていきます。各町内役員の皆様ありがとうございました。

防災一口メモ

本の紹介

【被災ママに学ぶちいさな防災のアイデア40】

宮城での被災経験をふまえた「熊本応援ツイート」が話題となったイラストレーターによる、防災&避難生活の心得集です。体験者ならではのリアルなアドバイスが、コミックを交えてわかりやすく紹介されていて、必ずやって来る「その日」に備える一冊となるでしょう。(まち協事務局にありますのでご利用ください)



【地震時の心得 10 カ条(「広報たかやま」より)】

- 1 まず身の安全を第一に**
転倒の恐れがある家具などからはすみやかに離れ、丈夫なテーブルの下などにもぐり身を守りましょう。
- 2 脱出口の確保**
地震の揺れにより、ドアが変形して開かなくなることがあります。あらかじめドアを少し開けておくなど逃げ道を作っておきましょう。
- 3 外へ逃げるときはあわてずに**
瓦や看板などの落下物に注意し落ち着いて逃げましょう。
- 4 すばやく火の始末**
その場で火が消せる時は素早く消しましょう。ただし、揺れている時は危険なので揺れがおさまってから消火しましょう。
- 5 火が出たらすぐに消火**
火災を防ぐには初期消火が大切です。
- 6 狭い路地やブロック塀には近づかない**
日頃から避難経路の確認、点検をしましょう。
- 7 避難は徒歩で**
自家用車での避難はさけ、集団で行動しましょう。
- 8 隣近所と助け合って**
日頃から隣近所とコミュニケーションをとり、協力体制を築きましょう。
- 9 協力し合って応急救護**
負傷者の手当は地域ぐるみで助け合いましょう。
- 10 正しい情報を聞く**
災害時には誤った情報が流れることがあります。ラジオの情報や市、消防、警察などから正しい情報を入手しましょう。



なつみのつばやき

作/垣内奈津子



まち協クイズ38

今回隠れているものは何でしょうか?5つとも「」にあるものです。5つ解ったら、右の解答欄へ答えを記入してください。

なお、諺には 苦しい時に助けられたり、迷った時に救われたりする、「教え」が備わっています。今回の諺には、どんな「教え」が含まれているか、家族みんなで話し合ってみてください。

- ア** 良薬は()に苦し
- イ** 物言えば()寒し秋の風
- ウ** 寝()に水
- エ** 木で()をくくる
- オ** ()の根の乾かぬうちに

※回答は次回のこの欄で紹介します。

前回の解答 **ア**鳥 **イ**雀 **ウ**鴨 **エ**鷹 **オ**鶴 【隠れているもの鳥】

解答用紙

答えを記入して4月12日までにまち協事務所へお届けください。抽選で正解者10名にプレゼントを差し上げます。FAXによる応募もOKです。

解答

ア	イ	ウ	エ	オ
【隠れているもの】				

お名前 _____

ご住所 _____

連絡先 ☎ _____

■ご応募先 FAX 77-9984